



# 竹内秀明と ふるさと後援会

発行日 平成27年12月 会報Vol. 3  
発行元 竹内秀明とふるさと後援会  
〒796-017 八幡浜市日土町5-3695-1  
携帯 090-3788-4464  
URL:www.nextsoft.co.jp/takeuchi

## 【12月市議会定例会一般質問】

平成27年12月7日の八幡浜市議会において竹内市議の一般質問および答弁を要約してお知らせします。

### 竹内市議より質問

来年より満18歳以上の人が有権者とされるにともない、高校生達へ、選挙の際どのように考えて投票すべきかをどう教えればよいか、全国各地の自治体および教育



委員会は、対策に追われております。

八幡浜市の教育現場でも、何らかの主権者教育の準備しつつあることでしょう。先日当市でも行われた「こども議会」もまた、その一つと位置づけられるのではないかと思います。

有権者として「今この地域では何が問題か」「その問題に対し、どんな手立てが取られてきたか。その結果はどうであったか」「その経緯を踏まえ、これからどのように新たな方策を取ろうとしているのか、また取るべきなのか」など、地域の課題に対し取られてきた政策、およびその結果の評価、近い未来に行われようとしている政策に対する考え方など、現実の地域政策に関して学べる教育が存在しません。有権者のほとんどは政策に関してよくわからないまま20歳を迎えてしまっているのが現状ではないでしょうか。

18歳の若者が地域の課題に興味を持ち、自ら考え、一票を持って余さないようにするための方策が必要です。そこで前述の「こども議会」が大いに力を発揮するのではと思います。現状、同イベントに参加する子供たちは、若者の中でも地域政策に興味がある層と考えられます。この興味を持っている層の子供達に働きかけ、興味を薄い層の子供達にも働きかけてもらうのがよいのではないのでしょうか。

そこでまず、「こども議会」のイベントとしての性質を少し変えてみるのもよいと思います。現状、同イベントは地域政策に関する知見を深め、議論を行うというよりも、議会というものはどのようなものか、単に体験して終わるだけのイベントという性格が強いように思われます。

各学校に政策研究を行うための文化部を設けて政策研究の場を認めることかもしれませんし、各公民館に同様の研究の場を設けることかもしれません。

18歳で有権者となる時代、地域政策に対する知見を深め、生きた教育を受けさせることが必要なのではないでしょうか。それはそのまま、現在の有権者全体に対する、生きた有権者教育になるものと思います。

以上、新たに18歳の有権者へ、「こども議会」を用いた諸政策及び選挙への意識付けに関して提案いたします。市は18歳有権者に対し新たに取るべき施策をどのようにお考えか、お伺いします。



### 市長（大城 一郎）

選挙権年齢の引き下げに伴い、来年夏に予定されている参議院議員の通常選挙におきましては、高校3年生の一部の生徒が選挙権を得ることになり、この18歳選挙権の実現によって、全国では240万人、当市では約700人が有権者の対照になると見込まれております。

近年若者の政治離れが問題視される中、本市におきましても、今回の選挙権年齢の引き下げを若年層世代全体への選挙意識向上の機会と捉えているところです。

現在の啓発活動といたしましては、成人式での選挙啓発リーフレットの配付や模擬投票、小・中学生及び高校生を対象とした選挙啓発ポスター募集事業、生徒会役員選挙での投票箱等の選挙物品の貸与を行っているところです。また、市制施行10周年記念事業として8月に開催をしたこども議会は、主権者教育の一環としても有意義なものであったと考えております。後日こども議会から提出された要望書については、観光学習推進のためのフォーラムを来年1月に開催するなど、実現可能なものから市の施策に反映させているところであります。

竹内議員からは、こども議会を例とした提案をいただきましたが、特に新たに有権者となる高校生諸君が対象であることを考えたとき、1回につき高校生1クラス程度の人数を対象に地方自治講座あるいは市政講座といったものを開催し、意見を交わす中で投票に参加し、意思を表明することの大切さを理解いただくことも一案ではないかと考えているところであります。

### 教育長（井上 靖）

それでは、小・中学校における主権者教育について回答させていただきます。

現在小学校では、6年生の社会科において政治の仕組みや政治の働きと国民の生活について学習をしています。また、中学校の社会科においては、議会制民主主義の仕組み、選挙権の拡大や選挙の意義、さらに国民と政治をつなぐ政党とか政治参加と世論について学習をしております。こうした教科の学習のほかに、各学校におきましては、児童会や生徒会の役員改選時に選挙管理委員会を立ち上げ、立候補者受け付け期間や選挙運動期間を設けて、一般に行われる選挙日程に沿った活動を展開しております。

議員御質問の政策を研究する活動を中学校の部活動で一律に持つということは難しいと思われまます。ただ、現在も各学校におきまして、総合的な学習という時間の中で、身近な暮らしを見詰め、考え、見直していく探求的な活動を、学習を行っております。

## 議員活動におけるご報告

### 八幡浜市議会 産業建設委員会 行政視察

平成27年2月4日から3日間産業建設委員会の行政視察として北海道の北広島市と小樽市に行つたまいりました。

北広島市では、町なかの商業活性化の取組みとして、コミュニティビジネス創業支援事業と空き店舗対策を視察しました。

コミュニティビジネスとは、地域が持っている課題の解決や要望を住民が主体となって地域資源を活用する地域密着・生活密着型のビジネスです。市から必要な経費の一部を助成していました。



また、空き店舗利用促進事業として、賃借料の一部を市が補助するなどして商工会と共に空き店舗の利用促進を行っていた。

小樽市では、小樽港将来ビジョンとして、物流の活性化、まちづくりとへの貢献、新港地域の企業立地促進というように3点の目標を掲げて取り組まれております。今回の研修を今後の委員会活動に生かしたいと考えております。

福祉、環境、人権、産業などといった領域で本市の現状を深く考え、未来を思考する学習を進める中で、よりよい暮らしを実現するための提案を持ち、校内で発表し合ったりするような場を持ってあります。このような取り組みをさらに充実させていくことが、将来有権者となる子供たちの主権者意識の向上につながるのではないかと考えます。

### 竹内市議

18歳で有権者になるに伴い、若者たちも政治や選挙に無関心で何も考えていないわけではないと思います。居場所と出番を用意することで思い切って任せることで若者たち自分なりのやり方で主役になってくれると思います。学校のほうも、多くの行事でなかなか調整が難しいと思いますが、ぜひともこども議会の開催をふやしてもらい、小・中高校生が経験することで将来の八幡浜の力になってくれることと思います。こども議会の開催の機会をふやしていただくよう強く要望して私の質問を終わります。

**千丈田浪線夢色団地前市道補修**  
地元の要望で補修用アスファルトを市で助成してもらい竹内市議（元土建屋）自ら補修しました。

### 市道出石線補修

アスファルト舗装に大きな穴が空いてあり、より早く補修するため竹内市議自ら補修しました。やっぱりこの姿が似合う



### 小坂地区通学路崩壊視察

通学路の一部が崩落して危険な状態になっているので、建築課に早急に復旧できるよう報告しました。



久保田地区  
崩壊視察

中当地区  
水路視察

末広地区  
道路視察

### ご理解ください公職選挙法（要約）

議員は、お祭りへの寸志、花見・会合等へのお酒等の提供、スポーツ大会への差し入れ、近所へのお祝いなどの寄附をすることや、当選のお礼のあいさつ行為、年賀状等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことが公職選挙法で禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘・要求も禁止されています。

**議員の寄附や当選のお礼行為、年賀状は公職選挙法で禁止されていますご理解ください**

## 総会・懇親会のご案内

「竹内秀明とふるさと後援会」の総会および懇親会を行いますので、是非多くの会員の皆様の参加をお願いします。料理の準備の都合がありますので参加される方は1月18日までにご連絡ください。

記

日時 平成27年1月24日（日）6時より  
場所 日土東公民館 和室  
会費 2千円  
連絡先 竹内携帯 090-3788-4464 〆切 1月18日





旧舌田小学校跡に市が6,700万円をかけて改修し、みかんの収穫を手伝うために全国から来られるアルバイターの宿泊施設として「マンダリン」を11月にオープンしました。

今年度は1階の4教室を仕切って4人部屋8室をつくり、計32人が宿泊まりできるようにした。来年度には2階部分も改修し、計84人が宿泊できるようにする予定で、農業関係者に加え、各種イベント参加者等の



宿泊施設として、多目的に活用したいと考えています。

市から利用許可を受けるJ A西宇和が施設の管理を行い、早速アルバイター32人が入れ替わり利用されました。

**利用対象（想定）**

みかんアルバイター、外国人農業研修者、Iターンによる就農希望者、ソフトボール合宿、サイクリング大会、小学生等の宿泊体験、地域交流イベント等



## 八幡浜市地域おこし協力隊

本年度八幡浜市に3名（日土東地区2名、大島地区1名）の地域おこし協力隊が来られました。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等が著しい地方において、地域外の人材を誘致し、地域力の維持・強化を図っていく、地域協力活動に従事しながら、地域への定住・定着を図っていきます。

日土東地区に来られた2人にお話を聞きました。  
**《大西千晶》** 主な活動としては、各種地域行事に参加し、地域の魅力を、フェイスブックを通じてアピール、地区外との交流を行っています。

私は協力隊になった当初から、地元の方に「あの子が来てからなんか楽しい日が一日増えたな」と思っていたような活動をしたと思ってきました。特産品を作る、観光名所化してどんどん地域外の方を呼ぶ……それらの活動をしている他地域の協力隊員より

日土東地区 大島地区 日土東地区  
大西千晶 乗松稔明 塚田聖子

# 温泉

9月の本会議の挨拶でペットボトルの「温泉水」を掲げ大城一郎市長より「温泉」が出ましたとの報告がありました。温泉掘削は、松山市の業者に委託して2014年11月から掘削を始め、今年7月に工事を終了。湯量の調査や成分分析を県衛生環境研究所に依頼していたところ、10月下旬に毎分300以上の湧出量を確認し、ナトリウムイオンやメタケイ酸などの温泉成分を含む「低張性アルカリ性冷鉱泉」と判定されたという。

県の正式な検査で「温泉」とのお墨付きが出れば、市が建設費などを支援して、民間の温泉施設が建つ見通しとなりました。



せんが、「人の元気が一番の地域おこしへの近道」だと思っているので、一人でも多くの方に楽しい何かを体験して貰える活動をしていきたいと思っています。協力隊だけで出来る事には限界があるので、2年目に入る来年は、更に地元の皆さんのご協力を得つつ、活動していきたいと思っています。

**《塚田聖子》** 関西より日土東へ移住してきて、日土東地域おこし活動センターで地域活動等に参加してもらい、市広報「やわたはま」「地域おこし協力隊通信」やFacebook八幡浜市地域おこし協力隊で日々の活動を発信しています。

4月には芝桜祭りの手伝いに参加してもらい、きれいな芝桜を見て、地域の方と交流を深めることができました。それから、公民館活動の地域行事に参加してもらい、また、近隣の市町村を視察させられながら、日土東地区の魅力や課題を地域の方と共有しながら、活動しています。

7月にはハワイ留学生や青年海外協力隊経験者をセンターに招いて、日土小学校の児童を対象に国際交流を行い、また、近年河川被害が増大する中、河川の姿を感じてもらいたく沢登りの自然体験を行いました。

ピクニックガーデン  
**瀬田ダリア園まつり**  
 7.4(土) 10:00~15:00  
 瀬田地区お花畑周辺 八幡浜市日土町瀬田地区



## 竹内秀明ボランティア活動



## びっくりポンや！ 竹内秀明市議に家族が増えました。



この度、竹内市議が結婚されました。中学生、小学生のお子様と、もう一人新たな家族が誕生し、限界集落に元気な子供の声が響きわたっています。今後、自身が子育てをしていく上で学校教育、子育て支援の諸問題に取り組んでもらえることを期待します。少子化対策を自ら実践し限界集落を『元快集落』となるようかんばって頂きたい。(イクメン市議がんばれ)



**後援会のご入会案内**  
 竹内秀明とふるさと後援会では、会員を募集しています。ぜひ、新しい会員をご紹介ください。なお、連絡先が個人携帯に変わりましたのでお知らせします。

**連絡先**  
 名称 竹内秀明とふるさと後援会事務所  
 住所 〒796-017 八幡浜市日土町5-3695-1  
 連絡先 携帯 090-3788-4464  
 ホームページアドレス  
 URL: www.nextsoft.co.jp/takeuchi